

名前：

私はインターネットが普及しても、新聞や雑誌は必要だと思う。その理由は主に二つある。まず第一に、インターネット上の情報が信頼できるものか分からないからである。インターネット上では誰もが気軽に情報を発信できるが、裏返せばそれは責任感を持たずに真偽の不明な情報を安易に流すことができる、ということだ。一方で新聞や雑誌は、その記事を書いた記者や出版社が明記され、その情報を世の中に発信することに大きな責任が伴うので、いい加減な情報を流されることは少ないと言える。もし仮に新聞や雑誌が世の中からなくなると、私たちの情報源がインターネットだけに成り、てしま、たら、私たちはどの情報を取捨選択すればいいのか困惑してしまうだろう。情報を選択する際の基準として、新聞や雑誌が果たしている役割はとて大きいのである。第二に、新聞や雑誌からは幅広い情報を得ることができる、という利点がある。インターネットから情報を得ようとする際

、私たちは自分の興味のある情報だけを得がちだ。インターネットはその多重的な構造ゆえ、自分の知りたい情報をいくらでも詳しく調べられる一方で、様々な情報が一面的に並んでいることは少ないからである。多分新聞や雑誌は、様々な情報が一面的に並んでいるため、自分が興味を持ち、た以外の情報も得ることができる。自分が読んでいる記事の近くに書かれている記事と、たとえ興味がなくとも思わず読んでしま、た、という人はたくさんいるだろう。このように新聞や雑誌から、人は知らず知らずのうちに、多種多様な情報を得ているのではないだろうか。科学技術が発展し、様々な問題を解決するために、細分化された知識ではなく、各分野を横断した複合的な知識が求められている現在、このように様々な情報を吸収することのできる新聞や雑誌はなくてはならないものだろう。以上の二点より、私はインターネットが普及しても新聞や雑誌は必要だと考える。

1800字